

## 平成30年度 栃木県春季体育大会（バレーボール）要項

1. 目的 中学校教育の一環として生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身共に健康な生徒の育成をするとともに、スポーツの交流を通して各学校間の親睦をはかり、生涯スポーツの基礎づくりに寄与する。
2. 主催 栃木県中学校体育連盟・栃木県教育委員会
3. 主管 栃木県中学校体育連盟バレーボール専門部
4. 後援 栃木県バレーボール協会
5. 期日及び会場
  - 6月 1日（金）
    - ・男子 アリーナたぬま（A・B・C・D） \*会場準備…佐野地区校 事務局校  
\* 8：00 準備生徒入場 8：30 開場 8：30 受付 監督打合せ 開会式  
開会式終了の15分後、第1試合プロトコル
    - ・女子 茂木町民体育館（A・B・C・D） \*会場準備…コート主任、芳賀地区校 事務局校  
\* 8：00 生徒入場 フロアチェック 8：20 受付 8：30 監督打合せ  
コート設営15分後 第1試合プロトコル （開会式は行わない）
  - 6月 2日（土）
    - ・男女 アリーナたぬま（A・B・C・D） コート設営…2試合目チーム（1試合目チームはアップ可）  
\* 7：30 フロアチェック 8：00 開場 8：30 受付 監督打合わせ  
コート設営後 15分後 第1試合プロトコル （開会式は行わない）  
\*会場準備…A：男子ベスト4 B：男子ベスト8 C：女子ベスト4 D（サブ）：女子ベスト8
6. 参加資格 同一中学校に在学する生徒によって編成され、各地区中体連より代表として推薦されたチームであること。また、栃木県中学校体育連盟合同チーム編成規定により所定の手続きをし許可されたチームであること。

### 7. 出場チーム数 ・男子 オープン参加 ・女子 32チーム

	宇河	鹿沼	日光	芳賀	下都賀	塩谷	那須	南那須	佐野	足利	優準3	計
女子	6	2	1	3	6	2	4	1	2	2	3	32

※推薦・女子（新人大会優勝・準優勝・第3位の地区に1校増加）

8. チーム編成 監督は当該校の校長、教職員、部活動指導員（注）であり、引率者としての責任を負う。コーチは、当該校の校長が認めた者とし、当該校以外の場合はコーチ承認書（校長承認書）を提出する。マネージャーは当該校の教職員または生徒とする。  
（当該校長がベンチに入る場合は監督、コーチ、マネージャー登録をすること）  
（注）「部活動指導員」とは、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。
9. 競技規則 平成30年度（財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。ただしネットの高さは男子=2.30M、女子=2.15Mとする。試合はすべて3セットマッチとする。
10. 競技方法 男女とも1日目はトーナメント方式としベスト4まで決める。2日目はベスト4によるリーグ戦とベスト8によるリーグ戦を行う。  
・リーグ戦の順序は以下の通りとする。

第1試合（A1位 対 D1位）、第2試合（C1位 対 B1位）	第1試合（D2位 対 A2位）、第2試合（B2位 対 C2位）
第3試合（A1位 対 B1位）、第4試合（C1位 対 D1位）	第3試合（C2位 対 D2位）、第4試合（A2位 対 B2位）
第5試合（B1位 対 D1位）、第6試合（A1位 対 C1位）	第5試合（A2位 対 C2位）、第6試合（B2位 対 D2位）

11. 試合球 (財) 日本バレーボール協会検定4号球(カラー)  
男子…ミカサ 女子…モルテンとする
12. 開閉会式 (1) 開会式 (男子のみ) (女子は試合数が多いため行わない)  
・参加チームの選手全員が参加すること。  
・服装はユニフォームまたは運動着とする。
- (2) 閉会式  
・全試合終了後ベスト8までのチームは参加すること。
13. 表彰 チーム表彰 男女各1位, 2位, 3位, 4位を表彰する。  
個人表彰 優勝チームエントリー12名, 男女各優勝チーム監督を表彰する。
14. 備考 ①背番号は1~12が望ましい。主将は規定のマークを所定の位置につける。  
②監督, コーチ, マネージャーは同系色の服装で規定のマークを左胸につけること。  
(但し, マネージャーが生徒の場合は学校指定の体育着可)  
③朝のコート使用は本部の指示に従うこと。  
④ラインズマン旗, ホイッスル(長, 短)及びリベロ用ゼッケン(ユニフォームと同系色は不可)は各校で用意してくること。  
⑤試合球(検定球)は各コート3球を本部で用意する。  
⑥けが, 熱中症等に備え, 体温計, マスク, テーピング, 氷等は各チームで用意してくること。  
⑦体育館使用後の整理整頓は各チームが責任をもって行うこと。  
⑧第1試合の審判は, 代表者会議において決定する。  
⑨審判のチームから, ラインズマン・スコアラー・I F・リベロチェッカーとしてそれぞれ4~5名を出すこと。ただし正式エントリー12名の中から出すこと。  
第2試合以降の審判等は, その前に終了した試合のチームで行うこと。  
なお, その際生徒役員は負けたチームから出すこと。その他の運営については, 各コートの主任の指示に従うこと。  
・メンバー表は各チーム最大試合数準備してくること。(1試合につき1枚)  
⑩給水のためのタイムアウト(WTO)を採用する。

15. 事故発生時の対応について

